

退公連

第89号

福島支部だより

発行所

福島県退職公務員連盟福島支部

〒960-8043 福島市中町 5-21

県消防会館内

TEL/FAX (024) 522-0612

発行者 齋藤文和

令和7年度 社会保障制度改革に関する要望を実施しました

去る8月26日(火)、金子恵美衆議員議員事務所を訪れ要望を実施しました。金子議員本人に説明をして要望書を手渡しました。これまでは全国大会の時に議員会館を訪問し、会長から直接要望をしていましたが、諸般の事情により要望活動ができなくなりました。

そのため、金子恵美議員が帰省をするタイミングでスケジュールを調整していただき、支部長より説明をし、要望書を直接手渡しました。

(下: 要望書全文)

写真: 金子恵美事務所にて



社会保障制度改革に関する要望書

令和七年八月 日

日本退職公務員連盟

会長 鴨下一郎

福島県退職公務員連盟

会長 室井

衆議院議員

金子恵美殿



社会保障制度改革に関する要望書

日本退職公務員連盟

退職公務員をはじめ年金生活者の処遇改善につきましては、平素格別のご高配を賜り深く感謝いたしております。

さて

わが国は、超高齢社会・人口減少社会となりましたが、長生きして良かったと実感できる活力ある長寿社会の実現が急務となっております。

本連盟は、誰もが安心して暮らせる社会保障制度の構築、公務員が心置きなく職務に専念し、国家・社会の発展に貢献できる公務員制度の確立を希求しています。

特に、年金制度の改革に当たっては、現在及び将来の年金給付が高齢者の生活を支える資金であり続けることを願います。

つきましては、左記事項につき特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和7年度 要望事項

公務員の処遇・人材の確保に当たっては、人事院勧告を尊重するとともに、働く環境を重くとらえて、多様で有為な人材が集う公務員制度の確立について十分配慮されたい

また、マクロ経済スライドの調整を早期に終了し、年金生活者の生活の安定を図ること

また、調整期間終了までの間名目下限措置を維持するとともに、厚生年金の財源を基礎年金勘定に積立金按分により拠出することは慎重に対処すること

公的年金を含む社会保障給付費の財源は、安定した雇用と着実な経済成長による税収及び各種保険料収入の増加などにより確保されたい

物価高騰などで年金生活者の生活が厳しい中、高齢者に優しい公的年金・後期高齢者医療保険・介護保険制度などの維持改善に努め、年金生活者の負担が過重にならないよう十分に配慮されたい

特に、後期高齢者の窓口負担の増については、年金生活者の現状に鑑み、慎重に対処されたい

基礎年金の拠出期間延長等を実施し、基礎年金の給付水準の底上げを図るとともに、国庫負担相当分の財源を確保されたい

現役世代の賃金と年金給付水準との比較に当たっては、現役世代と同様に社会保険料などを年金から控除するとともに、単身世帯や共働き世帯の増加など社会構造の変化にも配慮されたい

進行する超高齢化社会・人口減少社会にあっては少子化対策を積極的に推進するとともに、健康で働く意欲のある高齢者及び女性、特に子育て世代が安心して働き易い労働環境の改善整備に特段の努力をされたい

「会津の仏教芸術に触れながら会津を発見する旅」に参加して

笹谷 4 松 寄 順 子 様

暑い夏が終わり、秋らしさを感じる10月2日(木)に会津方面への秋の研修旅行に参加しました。参加者は28名。福島駅西口前から大型バスに乗り込み出発です。齋藤支部長さんから、会津への思いや「全てを楽しみに変えながら一日過ごしましょう」のご挨拶をいただき、参加者全員期待に胸が一杯です。高速道路の両脇に広がる黄金の田んぼを見ながら爽やかな秋風が吹き抜ける会津路を走ります。前日の雨が嘘のような秋晴れに感謝。

最初の会津美里町法用寺に到着です。会津に現存する唯一の三重塔は、震災時の地震に耐えひっそりとたたずんで私達を迎えてくれました。そして、法用寺の住職を兼ねている福泉寺住職様から、寺の歴史や国重要文化財の「木造金剛力士像」などの説明を受け、お参りしました。三重塔前での記念撮影後、ご住職さんがリクエストに応じてのご詠歌を披露してくださり、最後に県重要文化財の銅鐘についてお見送りしてくださいました。

次に、湯川村勝常寺の「国宝木造薬師如来坐像」等の国重要文化財にお参りし、住職様から説明をいただきました。病気になった時に快方を願ってひたすら薬師如来様を信仰していた遠き時代の人々に思いを馳せました。

昼食は、喜多方市「蔵屋敷あづま」へ。用意された座席には、味噌田楽、おいなりさん、花豆、キノコ料理がきれいに並べられておりました。そして、喜多方といたらやっぱりラーメン。ラーメンが次から次

へと運ばれ、冷めない内に舌鼓を打ちました。昼食後、福祉部さん考案の3コースから、一番希望の多かった喜多方市若喜商店の赤レンガ蔵の見学をすることになりました。社長さん直々のユーモアあふれるご案内で、昭和の雰囲気になり、貴重な縹の柱がある蔵座敷を見学し、会津の地酒や醤油・味噌などを購入して最後の会津坂下・恵隆寺へ。

立木千手観音様で有名な金塔山恵隆寺。本尊仏は、身丈8.5m。一本彫で現在も床下に根がある、国最大の千手観音です。その大きさに圧倒されます。弘法大師傑作の一つと伝えられるご尊像は、脇にある「だきつき柱」に抱きつき左斜め45度に菩薩様を見上げて心願すると満願成就といわれているため、せっかくなのでやってみました。慈悲深いお顔にこころが癒されます。何卒、御利益がありますように。

最後は、道の駅「あいづ湯川坂下」での休憩タイム。お買い物をする人、甘味、飲み物でほっと一息つく人。それぞれに過ごし帰路につきました。

今回の旅は、会津の奥深さとよさに触れられた楽しく充実した旅となりました。コースの設定に当たり、資料を取り寄せ、何度も検討してくださった福祉部の役員の方々、見学前にバスの中で見学のポイントを紹介してくださったガイドさん(実はあきば観光の社長さん)、細い参道をプロのテクニックで乗り切った運転手さんに感謝申し上げます。来年、皆さんも参加してみませんか。

東北地方で最も早く仏教文化が花開いた仏都会津。厳しい冬の豪雪。その雪解け水がもたらす豊かな恵みを受け、東北地方の入口として栄え、古墳時代にはすでに中央国家との交流があり、仏教伝来と同時期に開かれた高寺(たかでら)伝承に見られるように仏教文化の流入も早かった。

会津へ伝わった仏教は、奈良東大寺や興福寺で学んだ僧 徳一(とくいつ)が、磐梯明神を守護神として磐梯山麓に開いた慧日寺(えにちじ)によって会津一帯に広められた。

三十三の姿に身を変え衆生(しゅじょう)を救うといわれる観音信仰から、平安時代に始まったとされる三十三観音巡りは、三代将軍徳川家光の異母弟として生まれた会津藩祖保科正之により始められた。



左上：法用寺 会津三十三観音第 29 番札所
会津坂下町の恵隆寺に次いで会津で二番目に古い寺院。養老 4（720）年徳道上人による開基。

右上：勝常寺 会津三十三観音第 10 番札所
平安時代初期の弘仁年間（810-824）に法相宗の学僧徳一によって開かれた。

左下：恵隆寺（えりゅうじ）
「会津風土記」によれば大同 3（808）年に空海の意を受けて坂上田村麻呂が創建したと言われていたが正確な時期や経緯は不明。会津三十三観音第 31 番札所通称立木観音・会津ころり三観音の一つ

飯館村長泥地区環境再生事業見学会に参加して

笹谷 1 五十嵐 登 様



去る 6 月 28 日（土）に「飯館村長泥地区環境再生事業見学会」が開催され、参加してきた。福島西口を 13 時に出発した。出発の車中で環境省放射能専門官によりレクチャーがあり（2 名乗車）現地で他地区参加者と合流し、長泥コミュニティーセンターで日程の説明があった。また、説明のなかでは放射能の測定器を使った実習があり、同じ地区でも数値の相違があった。

現地では放射能を含まない土を高さ約 50 cm と交換し、そこに野菜と花卉（かき）を栽培していた。ともに放射能の値は生活に影響のない範囲であった。ただ、残念に思うことは地元民も出席する予定であったが不参加となり、直接コミュニケーションがなかったのは残念。「百聞は一見に如かず」ということですが、その願いを深くした。会員の皆さんも参加されることを希望したい。所要時間は約 4 時間半であった。

環境省では毎月 2 回、無料で見学会を実施している。現地長泥は 4 工区あり、山林は除染されていないので、今後除染をするという。

今年は、毎日、気温が高いため熱中症にかからない生活をしなければならないと思った次第です。（見学記 五十嵐登記）

目標への挑戦 ～イチロー氏の言葉に共感～

3区 今野金哉様

大リーグで華々しい活躍をしたイチロー氏は、去る7月27日に米国野球殿堂入りを果たした際のスピーチで「夢を見ることは楽しいが、目標は難しく、挑戦を伴う…」と話していました。同氏の目標とは、「夢を具体的な目標に変え、日々の地道な積み重ねと万全の準備によって達成する」というものです。具体的には、目標達成のために小さなことの積み重ねを継続することですが、私も同氏の考えに共感している一人です。

私も喜寿を迎えましたが、これまでの人生において、文化面、スポーツ面あるいはボランティアの領域でいろいろと目標を掲げて小さなことを継続してきました。もちろん、今もって達成できない目標もありますが、多くの目標は細大達成することができました。

文化面では、「生涯に1回皇居歌会始における預選(入選)者となる」という目標は意外に早く達成でき、連続入選という栄誉もありました。「何らかの著書を出版し、福島民報出版文化賞を得る」という長期目標の達成には20数年かかりましたが、『福島の歌碑』(平成21年)の出版で達成できました。

スポーツ面では、「警察官在職中に、剣道と柔道合わせて10段を取得する」という長期目標を立てましたが、これは達成できず、退職後(古希を過ぎて)から達成(柔道6段、剣道4段)できました。「生涯に1回、世界マスターズウェイトリフティング競技選手権大会で優勝する」という目標については、約20年がかかり、令和6年に達成できました。

その他では、「白河～福島間市町村対抗駅伝(福島駅伝)を開催したい」という短期目標は2年ほどで開催の運びとなりました。もちろん、開催に至るためには、福島陸協の幹部の皆様や、福島民報社の熱意あってのものでしたが、一警察官として、開催に漕ぎつけることができた際の喜びは、現職中最大の思い出になっています。



また、大学時代の恩師(A教授、当時日本綱引連盟会長)から要望された「福島県綱引連盟創設」については、初代会長を務めた県立高校長M先生の手足となり、2年ほどで創設の運びとなりました。その後は、福島県から世界大会に出場するチームが育ったことをうれしく思っています。そうした経緯で、これまで40年間ほど公認審判員を務めてきました。

同様に大学の恩師(担任のS教授＝日本の「ソフトボールの父」とも呼ばれている)から「福島県のソフトボールを強くしてほしい」と要望され、これについても自ら公認審判員(約40年務めた)の資格を取り、昭和40年後半当時、まだ一般的ではなかった「ウインドミル投法」の指導普及に努めてきたことが良い思い出となっています。

ボランティア活動については、20歳代に「日本赤十字社水上安全法指導員」の資格を取得して水難事故の防止に努め、現在も現役です。

40代後半には、「スポーツを通じた国際貢献」を目標とするNPO法人「ハート・オブ・ゴールド」(理事長・有森裕子日本陸連会長)の設立に関わり、設立(平成10年10月10日)から27年が経過しました。同法人は、特にカンボジアの復興に力を入れています。また、「アンコールワット国際ハーフマラソン大会」の支援もその一環であり、私も10度以上現地に赴いて活動に加わっています。同マラソン大会も今年(令和7年12月)は30回を迎えることとなり、久し振りに現地向かう予定です。

令和7年度 年金研修会開催のご案内

主催 福島県退職公務員連盟福島支部
共催 福島県退職公務員連盟伊達支部
福島県退職公務員連盟安達支部

退職公務員連盟県北協議会では、会員の皆様の生活に役立つ生活関連情報や年金制度に重点を置いた研修会・講習会等を毎年実施しています。

令和7年度は、年金額アップ後、また5年ぶりに財政検証が行われた結果を踏まえ、年金制度の将来について考えます。受給者である私たちや現職の方々が、少なからず制度や将来に向けた動向を理解し知っておくことで安心が増すものと思います。

この機会に多くの皆様が参加されますよう、下記により研修会をご案内申し上げます。

記

1. 開催の趣旨

昨年度は年金制度と年金額アップ・財政検証の内容等の研修を行いました。本年度は財政検証後の公的年金制度における課題や公的年金制度の維持を中心に、昭和100年の年金制度全般について研修を深めます。

2. 演題並びに講師

演題 「昭和100年の公的年金制度」
～財政検証と制度維持について～

講師 福島県退職公務員連盟 年金部長 秋山時夫様

3. 開催日時と場所

日時 令和7年11月24日(月) 午前10時～午前11時30分

場所 福島市アクティブシニアセンターAOZ 小会議室

福島市曾根田町1-18

TEL 024-533-2344

4. 参加申込

参加希望者は、退職公務員に限りません。現職・一般の方々も参加できます。

※ 参加費は無料です。

但し、資料準備の都合上、11月17日(月)までに下記へ葉書・FAX・電話のいずれかにてお申込みください。

葉書宛先：〒960-8043 福島市中町5-21 消防会館内

福島県退職公無韻連盟 福島支部

TEL・FAX：024-522-0612(代)

退公連福島支部

(在室日時 月・火・木 9時～14時30分)

なお、お申込みの際には、下記内容でお申込みください。

11月24日開催の年金研修会に参加を申込ます。
氏名・お住まいの市町村名・会員又は一般

おめでとうございます

百歳賀寿

鈴木 ひさよ 様 (吾妻 5・教職)



高齢者叙勲

瑞宝双光章

佐々木 恒 雄 様 (鎌田 6・県職)

お悔やみ

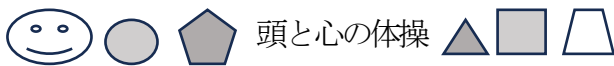
大 越 セ ツ 様 (北沢又7・教職)

緑 川 洋 子 様 (信夫3-2・教職)

鳴 原 ト ミ 様 (六区 1・教職)

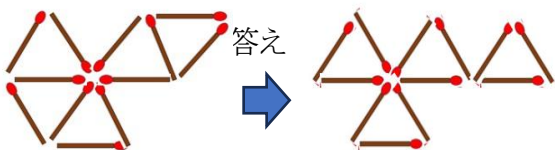
熊 田 忠 様 (北沢又3・県職)

(生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。)



頭と心の体操

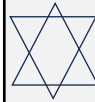
前回のマッチ棒問題の解答です。(マッチ棒は全て使用します。) これで、正三角形は4つできました。マッチ棒2本だけ動かしました。



小さい正三角形を二つこわし、一つ作ることが基本的な考え方です。

それでは、上の答えからさらにマッチ棒を2本だけ動かして、正三角形を3つにしてください。

(図はいびつですが、正三角形6つで作る正六角形と見なしてください。ヒント：正三角形はマッチ棒1本が1辺とは限りません。正三角形は必ず頂点または辺で繋がるようにしてください。)



記憶が記録となり、作られる歴史

(退公連福島支部合併の記録から)

昭和24年4月15日、産声を上げた「退公連各支部」は、「平成の大合併」の影響から支部の統廃合を余儀なくされました。平成19年8月29日に第一回福島・信夫支部合併協議が開催され、平成19年3月30日に「福島・信夫両支部の編入合併申請」が結実するまでに相当数の会議を重ねました。福島市と飯野町は平成20年7月1日編入合併と決まっている」とことや「両支部の地域や住所が複雑に入り組んでいる」という事由で、福島支部と信夫支部会員1、633名(19.4.1現在)が編入合併することになりました。編入合併とは「福島支部の組織運営規約を変更することなく、信夫支部全員が加入する」という合併方法です。

編入合併申請は福島支部長 鍵水武夫氏・信夫支部長 菅野長一郎氏 両名により福島県退職公務員連盟会長 佐藤静雄氏 に対し申請されました。これにより、平成20年4月1日付けで受理され、現在に至っています。

県退職公務員連盟がホームページを開設しています。是非アクセスしてみてください。

各支部の行事などの様子が見られます。

<https://fukushima-taikouren.com>



編集後記

お詫びと訂正

●(3)頁 写真解説文1行目「用法寺」を「法用寺」に訂正 ●「飯館村～参加して」10行目「がでかった」を「ができなかった」に訂正●(4)頁右段2行目「綱引連盟会長」を「綱引連盟副会長」に訂正 ※お詫びを申し上げますとともに訂正いたします。

後 記

「首班指名の行方」気になりますね。14年ぶりに家に帰る、当時6歳の少女。よかった…。